

## 営農管理システムZ-GISの概要について

Z-GISはインターネット上の電子地図と Microsoft Excel のワークシートを結びつけたGIS（地理情報システム）で、土地所有者や作付け品目・品種、生産履歴など、圃場に関する情報管理の効率化を目指して、2018年4月にリリースしました。

### 1. Z-GISの特長

#### (1) データを Microsoft Excel で保管・管理

Z-GISはMicrosoft Excel を利用しているので入力しやすく自由度が高いです。また、CSV形式でデータ出力できる他のシステムとの連携が可能です。

#### (2) さまざまな営農管理情報を地図上に表示

作物名ごとに圃場を色分けする、栽培面積・品種などの文字情報を地図上に表示するなど、電子地図を用いた様々な表現が可能です。

#### (3) 圃場地図の印刷

大判プリンタがあればポスターサイズの圃場地図が印刷できます。また大きな地図をA4サイズに分割し、小型プリンタで印刷することもできます。

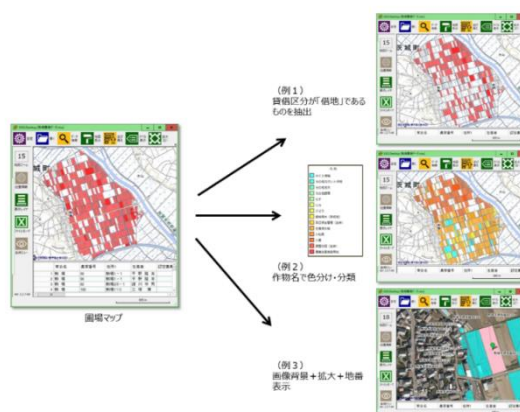


図1. Z-GISの活用イメージ

#### (4) ファイル保管・共有

Z-GISで作成したデータは専用のクラウドストレージに保管します。クラウドを使い、パソコン、スマートフォン、タブレットでデータを操作することができ、ファイルを複数の人が共有できます。

#### (5) 圃場数にもとづく利用料金

Z-GISの利用料金は圃場数にもとづいて設定されています。100圃場以下の小規模な経営体であれば年額2,400円から利用できます。圃場数が2,000を超えると一律年額48,000円となり、大規模な集落営農やJAも利用しやすい料金となっています。

表1. Z-GISの利用料金（税別）

登録圃場数	利用料金（年額）
0～1,999	100圃場ごとに2,400円
2,000以上	一律48,000円